大学院教育学研究科

所属・職位	大学院教育学研究科（教職大学院）・特任教授
氏名	安田　憲司（Yasuda Kenji）
取得学位	教育学士，山口大学，1986 年 3 月
SDGs目標	

研究分野	学校経営学
研究キーワード	学校組織マネジメント，ミドルリーダーの育成

研究内容

●成果につながる「学校組織マネジメント」に関する研究

県教育行政，特に教育事務所勤務を通して，大分県教育委員会が進める「芯の通った学校組織」の構築による学校の課題解決に資する組織マネジメントの在り方について，県内の小中学校に対して指導してきた。

重点的取り組み及び取り組み指標の適切な設定，年度を跨いだ持続発展的な短期ＰＤＣＡの確立，ミドルリーダーの活躍及び適切な助言・指導，全職員で情報共有できるシステムの構築，家庭・地域の役割を明確にした「チーム学校」の実動等，「学校組織マネジメント」の取り組みを通して，学校の課題解決に一定の成果を上げている学校の実践を整理・分析し，学校に対する指導・助言に生かしてきた。

また，大量採用による若手教員の増加に伴い，ミドル・アップダウンマネジメントによる人材育等を通した学校運営体制の確立を図るとともに，教職員の意識改革による働き方改革についての研究も行ってきている。

●組織的な授業改善の推進

大分県教育庁義務教育課勤務時代に，全国及び県の学力・学習状況調査結果から，本県児童生徒の学力の状況を踏まえ，大分県が進める学力向上対策を推進した。

客観性・信頼性のある学習評価の工夫と，子どもの実態に応じた教材の工夫等による，習熟度別少人数指導の推進や，学力向上支援教員等による優れた授業の普及，また現在の「新大分スタンダード」につながる「大分スタンダード（３つの授業改善）」を県内全ての小中学校で徹底して取り組むように体制整備を行う等，授業改善を進めるための方策について研究するとともに，全県に向けて発信を行ってきた。

研究業績・アピールポイント

県教育庁義務教育課・教育事務所・市教育委員会等，様々な教育行政現場での長年にわたる勤務経験や，県内各学校への訪問を通して，学校組織マネジメントを推進する上で効果的な取り組みを知るとともに様々な知見を得ることができた。教育行政現場で蓄えた知見や情報を，「大分県教委の進める教育施策」，「学校マネジメントの実践にむけて」，「学校組織マネジメントの充実のために今の校長・教頭に求められること」等の内容で，県内様々な場で校長・教頭・教務主任等のミドルリーダーに対して発信してきた。こうした知識や経験を基にして教職大学院では，「学校組織マネジメント」や「ミドルリーダーの人材育成」等について，学校現場における具体的取り組みを中心に据えながら，授業を通して意識の向上を図っていく。